

実施日：令和6年11月6日／12月4日

研究テーマ：学校事務を「つかさどる」ための専門的な知見の体系的な追及

府費監査報告動画の視聴



公簿の電子化ー校内の業務フローの変更  
実践報告

2024年12月4日 学校事務研究会

C4th学籍事務について

2024年12月4日 認定研究会報告資料

研究会の達成目標：

1. 今年度の監査報告等についての大阪府教育委員会配信動画の視聴、昇給抑制・復職調整の演習問題を解き、給与関係事務の正確性の向上を図る。
2. 学校のDX化を学校の環境整備の問題ととらえ、これまで学校の学びの環境整備を行ってきた学校事務職員にとっても自らの仕事に直結する問題であることを認識する。

## 活動内容

◎府費監査報告動画の視聴（11月6日）

前半は、府教育委員会の今年度の監査報告動画を視聴した。給与や旅費の戻入・追給が発生した事例について理解を深め、解釈が難しい点等について情報交換を行った。

後半は、昇給抑制と復職調整の演習問題を難易度別に3グループに分かれて行った。基礎資料の作成や演習問題の作成を研究会員で手分けして行ったことにより、経験年数の長い学校事務職員にとっても知識の再確認となった。また、経験年数の浅い学校事務職員においては、先輩事務職員に教えてもらいながら演習問題を解くことで、積極的に問題に取り組むことができた。

◎公簿の電子化と学籍事務（12月4日）

校務のDXの具体的事例として、昨年度末から本格的に導入が開始された公簿の電子化についての実践報告とグループでのディスカッションを行った。

最初に前任校での取り組みとして、「公簿の電子化ー校内の業務フローの変更」についての実践報告があった。続けて、「C4th学籍事務について」の実践報告では、C4thを用いたマニュアルの作成とマニュアルに基づいた学籍管理を行うことで、校内で共通認識を図りながら適正に管理を行っている事例が報告された。

## 今後の活動

次回の研究会では、三認定のケーススタディ／財務規則・財務実践交流の2グループに分かれて、取り組みを進めます。